

# ボランティアセンター通信

## 「なかくボランティアまつり」を開催しました!

10月26日(土)に中区地域福祉センターで「第26回なかくボランティアまつり」を開催いたしました。当日は子どもから高齢の方まで約480名という多くの方が来場され、大変賑やかなまつりとなりました。まつりに協力していただいた関係者の皆さま並びに、バザー物品を提供していただいた皆さま、各コーナーを担当されたボランティアの方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。ご来場いただきました皆さまありがとうございました。

※バザーの収益金は、中区のボランティア活動推進のために大切に使用させていただきます。



## ♪ボランティア交流会を開催しました♪

9月27日(金)に中区ボランティア連絡会と中区社会福祉協議会共同でボランティア交流会を開催しました。

中区内を活動拠点としているボランティアグループや、個人ボランティアの方々の情報交換や親睦を図り、今後の活動の発展や、活動への意欲向上を目指すため、毎年開催しています。

本年度の交流会では、ギターの弾き語り、岩角孝司さんを演者としてお招きし、参加者で唄って、皆様が笑顔あふれる時間を過ごすことができました。

演奏後は、日ごろのボランティア活動などの情報交換を行いました。

講座に交流・親睦と有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。



広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター  
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階  
TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
naka@shakyohiroshima-city.or.jp http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



この広報誌は共同募金の配分金及び一般財団法人多山報恩会の助成金により作成しました。

# まちづくり No.112

広島市中区社会福祉協議会  
令和6年12月発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階  
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



中区社協HP

Facebook

## 「なかじまどんぐりBASE」 取組紹介

中島地区では中島地区民生委員児童委員協議会を中心として、夏休み期間中に「なかじまどんぐりBASE」と称して、小学生の居場所づくりの取り組みを行いました。参加した子どもたちは宿題をしたり、ボードゲームで遊ぶなど思い思いに過ごしていました。昼食の準備なども一緒に行い、終始和気あいあいとした雰囲気で開催できました。今回が初めての実施



であり、子どもたちが何人来るか分からない中での開催でしたが、最終的には5回の開催で延べ150人もの子どもたちが参加してくれました。

中区社会福祉協議会でもこの活動を応援し、学生ボランティアの募集や、他協団体との橋渡し等を行いました。学生ボランティアは子どもたちにも大人気で、参加しない時間帯には子どもたちが寂しがる様子も見られました。

## 中島地区民生委員児童委員協議会 谷保会長にお話を伺いました。

2024年度、念願の「なかじまどんぐりBASE」を大勢の方々の協力を得て開催することができました。

「なかじまどんぐりBASE」を開催することによって得たものは予想以上に大きく、参加児童の保護者の方からお手紙をいただくなど感動的なものでした。子どもたちとの絆はもちろんのこと、民生委員同士の信頼も深まり、年齢の異なるボランティアスタッフとの交流も心豊かにするものでした。

今回得ることのできた絆をもとに、来年度の開催も前向きに検討していきたいと考えています。

# 「地域×企業つながるサミット」を開催しました!

地域では、住民同士の交流の場づくりや見守り、たすけあい活動など、地域活動を担う活動人材の不足が深刻化する一方で、現在の社会情勢を反映した公益的貢献意識の高まりを背景に、地域の一員として役割や恩恵を共有できる関わりを望まれる企業が増えつつあります。



これを踏まえ地域で活動を行う団体と、活動の手助けをしたいという企業の思いをつなげるためにサミット(交流会)を開催しました。

中区内の9地区の地域団体、15社の企業、福祉専門職員を合わせて約70名の方にご参加をいただきました。交流会を通して地域で子ども食堂の運営をしている団体へフジグラン広島様より食品提供の協力や、サロン(地域住民の集いの場)で企業の特徴を活かした講座実施の協力を結びつけました。

研修会に参加された方の声

**地域団体:**大変良い会でした。地域団体と企業が手を取り合うという交流会の趣旨、目的はとても大切なことで、これからも開催してほしいです。時間が足りなかった、盛り上がったところで時間切れだったので、また企画してほしいです。

**企業:**地域団体の方々と交流できたことに本当に感謝しています。地域が抱えている課題について知ることができ、企業として引き続き協力していきたいと思いました。

今回の交流会を通して、地域団体と企業がつながり、双方を知る機会として有意義であったものと感じています。いただいた意見も参考とさせていただきます。今後も地域団体と企業が協力して活動に取り組むための交流会の開催を考えています。

## 令和6年度 中区認知症介護講演会

### 家族のための認知症ケア

～「あなたのことを大切に思っています」というメッセージが伝わる介護技術～

超高齢社会を迎え、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。認知症の人を支えるためには、介護をする時にどのような工夫が必要でしょうか。介護を受ける人と介護をする人とが良い関係を築くための技術を学んでみませんか。

要予約

先着100名



**日時** 令和7年2月20日(木)  
13:30～16:00

**会場** 中区地域福祉センター  
大手町平和ビル5階  
(中区大手町四丁目1番1号)

**お申込み** FAXまたは二次元コードでお申込みください。

FAX▶ 中区地域支えあい課 地域包括支援係 082-504-2175

二次元コード▶



**第1部 講演**.....講師:社会福祉法人三篠会 小規模多機能型居宅介護事業所  
(13:30～15:00) SHIRAKI 梯 管理者 森山 由香 氏  
**第2部 座談会**(希望者のみ).....介護を一人で抱えないために「介護についてお話ししよう」  
(15:00～16:00) 担当:認知症の人と家族の会広島県支部 広島市中区家族の会世話人

令和6年度 中区認知症介護講演会申込とし、  
①氏名 ②年代 ③電話番号 ④お住まいの区」をご記入ください。

## 手をつなぐ育成会中区支部学校親の会(ポップコーン) 「土曜教室」活動紹介

「土曜教室」は、障がいをもつ子どもたちの余暇活動の充実、参加者同士の交流を目的に、親子やボランティアと一緒に季節行事や料理などの活動をしています。

令和6年11月23日(土)には、三次の「三次もののけミュージアム」や「三次ワイナリー」に行き、みんなで楽しみながら交流しました。



# 元気さん紹介



今回の元気さん 地域福祉推進委員 黒田さん

### どのような活動をされていますか。

現在は、「各サロン」の計画運営、縁側(いきいき)サロン、ボランティアグループ「ふれあい」運営、舟入小学校と地域交流学習(昔のあそび、米の炊き方等)、下校時見守りパトロール等へ参加しています。

### 活動を始められたきっかけを教えてください。

民生委員在任中に前地区社会福祉協議会会長の依頼で推進委員を平成26年5月から始めました。民生委員活動の延長上で行うことが出来ると存じ、今日まで続けております。

### 活動の中で心がけていることを教えてください。

皆様に自由にサロン(会)に参加していただき、楽しい時間を過ごされ、次回のサロン(会)にも興味をもっていただける様、努力しております。

### 活動の中で嬉しかったことは何ですか。

「赤ちゃん広場」に0才から参加され、4、5才になられた親子にあいさつされた折は、時の流れと、活動の喜びを感じます。

なかくボランティアまつりでは、実行委員として活動していただいておりますが、これまでに記憶に残るエピソードなどはありますか。

私の担当はバザーです。コロナ感染以前は、バザーの品物、人も多く5Fから4Fの踊り場まで並び、整理、進行が大変でした。現在まで何ごともなく、安心、安全で終わることが、一番の喜びです。

### 最後に今後の抱負を教えてください!

高齢化社会です。サロン(会)運営に興味、関心をしめされる方が、一人でも多くの参加者があります様に、各関係者と協議し進みたい存じます。



### ●舟入地区社協 サロン活動の紹介

舟入地区社協 事務所拠点

縁側(いきいき)サロン	毎週1回	グループでプランを決め活動
舟入サロン	毎月1回	中区社協と連携とり各分野のお話を聞く
あかちゃん広場	//	子育てオープンスペース(0～2才)
健康サロン	//	地域包括支援センターと連携し健康について勉強会
スポーツサロン	//	体力維持のための軽スポーツ実施

地域サロン

●100才体操サロン 5ヶ所 ●いきいきサロン 3ヶ所

ありがとうございました。



## 赤い羽根共同募金 2024年10月1日から赤い羽根共同募金が始まっています。

今年度も広島市中区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに赤い羽根共同募金運動(期間:令和6年10月1日～12月31日)が実施されています。

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートし、現在まで続いている歴史ある全国的な運動です。

当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

社会の変化のなか、赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

赤い羽根共同募金は、みなさんのお住まいの地域で幅広く活用されています。中区社会福祉協議会ではお寄せいただいた募金は、ひとり親家庭の子どもや障がいをお持ちの方、高齢者等の交流活動など、皆さんの住むまちの地域福祉活動へ活かされています。

### 中区地域福祉センターをご活用ください。

市民の自主的な福祉活動を支援し、地域福祉の増進を図るために設置されています。福祉を目的とするグループやボランティアグループは無料でご利用いただけます。※施設詳細、申込方法など、詳しくはお問い合わせください。

- 所在地 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
- 休館日 毎月第3日曜日、8月6日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
- 開館時間 9:00～21:00

### まつり景品協力(敬称略)

㈱ダイナム八丁堀店 ㈱タカトープリントメディア ㈱中国銀行西広島支店  
㈱フジジグラン広島 新広島ヤクルト販売㈱ 広島駅弁当㈱

### あたたかいご寄附をありがとうございました

皆さまのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切にさせていただきます。(令和6年9月1日～令和6年11月30日現在)

【寄付金】小田 テルミ 様、木村 千代 様、土井 博満 様 (50音順)